

R1

アクションプラン全体計画（平成28～令和2年度）

推進項目	52 業務のシステム化推進					重要度	B		
番号・取組事業名	52001	バッチ処理コストの適正化		作成日	H31.4.1	更新日	R2.3.31		
担当部署	020800	企画部 情報政策課		責任者	長妻 敏浩	担当者	情報政策・セキュリティ担当		
取組年度	H28	～	R2						
効果	歳出削減								
最終目標	市全体の情報化に係る予算規模の適正化を図ることを目的に、年々増加するバッチ処理に係る経費について見直しを行う。								
年度	区分	取組内容・目標							
平成28年度	計画どおり	現行システムの処理方法から、汎用的かつ効率的な処理を行えるようシステムの見直しを行い、電算予算にかかる経費の削減を図った。							
平成29年度	計画どおり	処理方法の見直し、担当者の査定等によりサービスの質を維持した上でのコスト削減を図った。							
平成30年度	計画どおり	処理方法の見直し、担当者の査定等によりサービスの質を維持した上でのコスト削減を図った。							
令和元年度	実施	処理方法の見直し、担当者の査定等によりサービスの質を維持した上でのコスト削減を図る。							
令和2年度	完了	処理方法の見直し、担当者の査定等によりサービスの質を維持した上でのコスト削減を図る。							
成果指標	指標名	バッチ処理に係る経費					単位	千円	
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	最終値	
	当初計画値		248,799	261,238	274,299	288,014	302,415	302,415	
	実績値	270,781	253,325	252,599	253,055	254,444		0	
効果額	歳入増加	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
	歳出削減	当初計画額	270,781	21,982	9,543	△ 3,518	△ 17,233	△ 31,634	△ 20,860
		変更計画額							0
		実績額		17,456	18,182	17,726	16,337		69,701
	計	当初計画額	270,781	21,982	9,543	△ 3,518	△ 17,233	△ 31,634	△ 20,860
		変更計画額		0	0	0	0	0	0
		実績額		17,456	18,182	17,726	16,337	0	69,701
見込まれる その他効果 (金額以外)									

R1

アクションプラン(令和元年度)

推進項目	52 業務のシステム化推進				重要度	B			
番号・取組事業名	52001	バッチ処理コストの適正化	作成日	H31.4.1	更新日	R2.3.31			
担当部署	020800	企画部 情報政策課	責任者	長妻 敏浩	担当者	情報政策・セキュリティ担当			
	区分	取組内容・目標							
令和元年度	実施	処理方法の見直し、担当者の査定等によりサービスの質を維持した上でのコスト削減を図る。							
取組項目			4～6月	7～9月	10～12月	1～3月			
1	処理方法の見直し、担当者の査定等				○				
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
上半期	進捗状況	その他	コメント	10月以降に実施予定。					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	バッチ処理に係る経費		計画値	単位	千円	実績値	単位	千円
					288,014			254,444	
	達成状況【成果】	達成		コメント	現行システムの処理方法から、汎用的かつ効率的な処理を行えるようシステムの見直しを行い、電算予算にかかる経費の削減を図った。				
	進捗状況【活動】	計画どおり							
計画変更(次年度以後)	取組内容	無		コメント					
	計画値	無							
評価	評価者	飯田 晃一		※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする					
	総合評価(A・B・C)	A		コメント 指示事項	前年度に引き続き計画値を上回る効果を挙げることができた。業務効率化の手段の一つとして事務の見直しを含めシステム化の推進を図っていく。				
	方向性	継続実施							

R1

アクションプラン全体計画（平成28～令和2年度）

推進項目	52 業務のシステム化推進				重要度	B			
番号・取組事業名	52003	救急救命ネットワーク事業		作成日	H31.4.1		更新日	R2.3.31	
担当部署	400400	消防局 救急課		責任者	伊藤 政則		担当者	救急担当	
取組年度	H28	～	R2						
効果	歳出削減								
最終目標	・市内公共施設に設置されているAEDを、一括リースに変更することによる経費削減。								
年度	区分	取組内容・目標							
平成28年度	計画どおり	リース契約している公共施設のAED117台継続して設置。							
平成29年度	計画どおり	リース契約している公共施設のAED117台継続して設置。							
平成30年度	計画どおり	リース契約している公共施設のAED117台継続して設置。							
令和元年度	実施	公共施設で更新予定のAED88台を、新たに一括リースで契約入札。合計205台の一括リース。							
令和2年度	完了	公共施設で更新予定のAED20台を、新たに一括リースで契約入札。合計225台の一括リース。							
成果指標	指標名	公共施設AEDのリース契約割合					単位	%	
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	最終値	
	当初計画値		52	52	52	88	100	100	
	変更計画値	52				91	100	100	
実績値		52	52	52	91		0		
効果額	歳入増加	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
	歳出削減	当初計画額		0	0	0	17,452	5,817	23,269
		変更計画額	2,540				18,670	4,176	22,846
		実績額		0			18,670		18,670
	計	当初計画額		0	0	0	17,452	5,817	23,269
		変更計画額	2,540	0	0	0	18,670	4,176	22,846
		実績額		0	0	0	18,670	0	18,670
見込まれる その他効果 (金額以外)	リース契約は、 バッテリー、電 極パッド等の消 耗品費も含ま れる。	同左	同左	同左	同左	同左			

R1

アクションプラン(令和元年度)

推進項目	52 業務のシステム化推進				重要度	B
番号・取組事業名	52003	救急救命ネットワーク事業	作成日	H31.4.1	更新日	R2.3.31
担当部署	400400	消防局 救急課	責任者	伊藤 政則	担当者	救急担当
	区分	取組内容・目標				
令和元年度	実施	公共施設で更新予定のAED88台を、新たに一括リースで契約入札。合計205台の一括リース。				
取組項目			4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1	リース契約継続		○	○	○	○
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
進捗						
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	公共施設のAED88台を新たに一括リースし、合計AED205台の契約を継続した。		
進捗・実績						
年度末	成果指標名	公共施設AEDのリース契約割合	計画値	単位 91	%	実績値 91
	達成状況【成果】	達成	コメント	・リース契約している公共施設のAED117台継続して設置(4年目) ・令和元年4月1日から66台、10月1日から22台の計88台(1年目)を新規リース契約を行い、公共施設のAEDは205台設置		
	進捗状況【活動】	計画どおり				
	計画変更(次年度以後)	取組内容	有	コメント	7月31日に契約が満了となることから、8月1日から117台の更新の他、28台を追加したAEDのリース契約をし、公共施設のAEDは233台設置となる	
計画値		有				
評価	評価者	村井 浩	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする			
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	AEDの一括リース化は、経費の削減と事務管理の一元化となるため、継続的に実施していくことが望ましい。 また、今年度も新たな台数増のリース契約が円滑に進められるように、関係部署と調整しながら準備をしておくこと。		
	方向性	継続実施				

R1

アクションプラン全体計画（平成28～令和2年度）

推進項目	52 業務のシステム化推進					重要度	B		
番号・取組事業名	52004	こどもルームのICT化による業務効率化			作成日	H31.4.1	更新日	R2.3.31	
担当部署	070300	学童保育課			責任者	沖本 雅樹		担当者	山岸
取組年度	H31	～	R2						
効果	その他改善								
最終目標	ICT活用により、次のとおりとする。 ①こどもルームの適正な管理の徹底を図る ②こどもルーム及び学童保育課の事務の効率化を図る ③各こどもルームから直接利用者（保護者）に情報発信することにより、市民サービスを向上させる								
年度	区分	取組内容・目標							
平成28年度									
平成29年度									
平成30年度									
令和元年度	実施	10月頃、全こどもルーム43ヶ所にインターネット環境を整備する。こどもルーム指導員を対象にITスキル・ITリテラシーの研修を実施する。安全な運用が図れるよう、個人情報を含まない照会等でトレーニングを行う。							
令和2年度	完了	賃金関係など個人情報を含む書類をインターネットを介してデジタルデータでやり取りすることにより、事務の効率化を図る。							
成果指標	指標名	こどもルーム指導員の賃金関係の処理日数					単位	日	
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	最終値	
	当初計画値	22				18	15	15	
	変更計画値							0	
実績値					18		0		
効果額	歳入増加	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
	歳出削減	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
	計	当初計画額		0	0	0	0	0	0
		変更計画額		0	0	0	0	0	0
		実績額		0	0	0	0	0	0
見込まれる その他効果 (金額以外)					個人情報を含まない照会等で事務の効率化が図られる。 ※賃金関係は個人情報を含むため対象外	個人情報を含む照会等で事務の効率化が図られる。			

R1

アクションプラン(令和元年度)

推進項目	52 業務のシステム化推進				重要度	B		
番号・取組事業名	52004	こどもルームのICT化による業務効率化	作成日	H31.4.1	更新日	R2.3.31		
担当部署	070300	学童保育課	責任者	沖本 雅樹	担当者	山岸		
	区分	取組内容・目標						
令和元年度	実施	10月頃、全こどもルーム43ヶ所にインターネット環境を整備する。こどもルーム指導員を対象にITスキル・ITリテラシーの研修を実施する。安全な運用が図れるよう、個人情報を含まない照会等でトレーニングを行う。						
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
1	こどもルームへのインターネット環境整備			○	○	○		
2	こどもルーム指導員対象のITスキル・ITリテラシー研修の実施				○	○	○	
3	個人情報を含まない照会等での事務効率化					○	○	
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
進捗								
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	9月に、情報セキュリティ対策に関する研修を実施し、各ルームから指導員2名が出席した(合計86名)。研修は、情報セキュリティの知識の習得が主であるが、特に、情報漏洩やウイルス感染によるデータの破損の留意点などを学んだ。インターネット環境の整備については、12月ごろに各ルームに配付を予定している。				
進捗・実績								
年度末	成果指標名	こどもルーム指導員の賃金関係の処理日数	計画値	単位	日	実績値	単位	日
				18		18		
	達成状況【成果】	達成	コメント	・研修については計画通りに、9月に情報セキュリティ研修を、12月にネット環境の整備、パソコンの配付及び操作研修を行った。 ・個人情報を含まない形での照会等について、これまでは電話・FAXのみの連絡手段であったが、パソコンの使用環境を確保したことで、急ぎの案件に対しても迅速な対応が可能になり、事務改善に大いにつながった。				
	進捗状況【活動】	計画どおり						
計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント					
	計画値	無						
評価	評価者	高木 絹代	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする					
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	ICT化により環境整備ができたので、更なる業務改善に意欲的に取り組むこと。 具体的な評価も行うこと。				
	方向性	継続実施						